

## 2009年司教ミサ参加者のコメント（抜粋）

（編集部より）昨年多くの方々からコメントをいただきました。心より御礼申し上げます。私たちの掲げる、「莊厳で美しい聖なる典礼への回帰」運動は、礼節をわきまえながら今後も続けてまいりますが、皆様もそれぞれの小教区におきまして、様々な機会に発言していただきますようよろしくお願ひいたします。教皇様がこのようないいミサの実践を強く奨励されておられることをぜひ多くの信徒の方々にお伝えくださいますように。

- とてもすばらしい御ミサに与かることが出来、心から感謝もうしあげます。54年前に洗礼のお恵みを頂いた時、中学3年でした。ラテン語の御ミサに久しぶりに与かり、とてもなつかしく自然に祈ることが出来ました。多くの方と心を一つにして、一つの言語で歌うこと祈ることが出来て幸せでした。白柳枢機卿様の御回復をお祈り申し上げます。
- 以前から存在は知っていたのですが、今回ようやく御ミサに与かることが出来ました。普段のミサが省略されたものだと実感しました。ラテン語の美しいひびきに心を打たれました。（東京・40代女性）
- アルベルト・カステッロ大司教様の御ミサに与かれて、心から感謝の心で一杯です。御聖体拝領も堂々とひざまずいて口にさずけて下さり、とても嬉しく、イエズス様マリア様もどんなにかお喜びのことと思い、涙がとまりません。この御ミサが永遠につづきますようにとお祈り致して居ります。有難うございました。神に感謝（神奈川・厚木教会）
- 大司教様が「全会衆の祈り」の処で、会衆が戸惑って声が小さい時にマイクで大声で祈りの文、語句を唱えて下さり、それで会衆の声も徐々に大きくなっていました。助かりました。
- いつも大変有難くこのミサに与かっています。本日も言葉につくせない程の感謝であります。年齢のせいでしょうか、ミサ中に涙が出て、久し振りのラテン語聖歌も口元がもつれる仕末でした。神に感謝。（埼玉；草加教会）
- 聖歌隊の歌が多く、聖歌隊の発表会のようだった。一般の信者が歌う歌を多くして欲しいと思います。ラテン語ミサの時代によく歌われていたラテン語の聖歌を取り上げて欲しいと思います。ミサの進行はスムーズだったと思います。マイクの使用もうまく行っていたと思います。司式司祭の典礼文の最初の音出しが、一部タイミングが合わないところがありました。司祭の動きをよく見て心を合わせて音を出して頂きたく思います。CANTATE DOMINO ヘンデル作曲を知ることができました。良く知っている曲がこのような曲とは驚きました。（東京・志村教会）

7. ラテン語のミサに参列することができて感謝、感動です。これが教会が守ってきた典礼だと感じました。現代語化された典礼は何だか薄っぺらな感じがします。意味が分かれば良い、話し言葉で典礼を挙げていれば良いといったものではないと思います。教会が守ってきたラテン語の典礼についてその回復を見直していく事がこれからの課題だと思います。
8. これが本当のカトリック教会だと思いました。やはりラテン語グレゴリオ聖歌は美しくすばらしいものです。うちの教会のフォークミサはなんとかならないものかと思います。恥ずかしいです。本当にありがとうございました。（東京・K教会）
9. オバマ米大統領がノーベル平和賞を受賞される発表があったこの日、平和と正義のミサをこのように莊厳司教ミサで挙げることができ心から感謝申し上げます。多くの方々の奉仕と祈りと献身によってできましたこと、ほんとうにありがとうございました。めったにミサに参加できない今、信仰の確信とよろこびをいただきました。白柳枢機卿様のためにいのります。（東京・小金井教会）
10. 毎年のことですが、御準備下さる方々に感謝と敬意を捧げます。心が洗われ、身を低くして神に向えます。大司教様のお説教で最後に「形や言葉ではなく心を一つにして祈りましょう」が今、心に残りました。ありがとうございました。（東京・豊島教会）
11. 新しく洗礼を受け信徒になって4年、教会に通ううち、何もかも古き良き伝統を失くしてゆく日本のカトリックに失望を深めています。ラテン語・グレゴリオ聖歌のごミサ、これほど美しい尊いミサはみたことがありません。毎年続けて下さること心より感謝いたします。（東京・八王子教会）
12. 聖歌隊用楽譜のグレゴリアン言葉が音符と合っていない。ミサレットのラテン語は母音部分が4線譜のように音符の真下に来ているので、歌いやすいのですが.. .... 4線譜のラテン語はキチンと入っているので初見でもすぐ歌えるのですが。（神奈川・保土ヶ谷教会）
13. 千年以上、神様と共に歩んできた教会の伝統をもっと大切にしたいものです。数年ぶりの参加でしたが、今日は本当に有難うございました。（東京・三軒茶屋教会）